

2025年4月21日

各位

興和株式会社

興和が独自開発した抗体-薬物搭載ミセル複合体（ADUC）  
「開発コード：K-679」の非臨床試験のデータを  
American Association for Cancer Research 2025 で発表

興和株式会社（以下「興和」）は、2025年4月25日から4月30日に米国シカゴで開催される American Association for Cancer Research 2025（以下「AACR 2025」）のポスターセッションにおいて、『開発コード：K-679』の非臨床試験のデータを発表することをお知らせいたします。

K-679 は、興和が独自開発した抗体-薬物搭載ミセル複合体（ADUC：Antibody Drug-loaded Unimicelle Conjugate）であり、大量に薬物を搭載させることにより、既存技術を用いて作製した抗体-薬物複合体（ADC：Antibody-Drug Conjugate）と比較してより強力な抗腫瘍効果を示しました。

■AACR 2025 で採択された発表は以下のとおりです。

発表形式	発表タイトル	発表セッション・日時
ポスター 抄録番号：1798	K-679: A novel, ultra-high-DAR antibody drug-loaded unimicelle conjugate (ADUC) enabling more effective treatment in EGFR-expressing solid tumors compared to general ADCs	● セッション： Novel Drug Delivery Technologies  ● 発表日時： 2025年4月28日 9:00-12:00 (米国時間)

※抄録の詳細は、以下よりご確認ください。

AACR 2025 ホームページ：<https://www.abstractsonline.com/pp8/#!/20273/presentation/3006>

■AACR 2025 学会について

学会名	American Association for Cancer Research 2025
会期	2025年4月25日から4月30日（米国時間）
場所	米国イリノイ州シカゴ McCormick Place Convention Center (住所) 2301 S. Dr. Martin Luther King Jr. (MLK) Drive Chicago, Illinois 60616

## ■K-679 について

興和が独自開発した単分子ポリマーを利用したミセル技術により、抗がん剤を多量に搭載したユニミセルの作製を実現しました。K-679 は、この技術を応用して開発された新型の抗体-薬物複合体（ADC）、すなわち抗体-薬物搭載ミセル複合体（ADUC）であり、EGF 受容体に対する抗体に微小管重合阻害剤 DM1 を搭載したユニミセルを結合させています。また、既承認の ADC の DAR（薬物抗体比）を大きく上回り、抗体 1 分子当たり約 40 個の DM1 を搭載することに成功しました。

非臨床における K-679 の薬理試験においては、複数のヒトがん細胞株移植モデルで、既存技術を用いて作製した ADC と比較して、より強力な抗腫瘍効果を示しました。さらに、EGFR 陽性細胞株と陰性細胞株を混合した共移植モデルにおいても Bystander killing 効果による顕著な腫瘍縮小効果が確認され、既存のがん治療に新たな選択肢を提供できるものと期待されています。

以上